

VOICE OF AIZU — ボイス オブ アイツ —

～『会津・漆の芸術祭』を通して会津の声を発信する Web サイトの制作～

A2201016 佐藤彩 A2201018 佐藤理奈 A2201030 横木芽生

1. 背景

昨年 3 月 11 日に起きた東日本大震災で、幸いにも会津地区の被害はそれほど甚大ではなかったが、原発事故による風評被害の影響で観光客が大幅に減少するといった問題が生じている。こうした状況を受け、私達の中で「会津の現状を知って欲しい」「前と変わらず、温かい人々の暮らしがここにあることを知ってもらいたい」という想いが強くなっていき、“会津の声を発信する Web サイトの制作”を研究テーマにした。

そこで着目したのが、昨年 10 月 2 日～11 月 23 日にかけて開催された『会津・漆の芸術祭』である（以下芸術祭と略す）。開催 2 回目となった今回は“東北へのエール”をテーマに掲げ、“鎮魂と再生の願いが込められた作品によって、復興への道筋を文化の力で照らし出す”というコンセプトになっている。私達に身近な場所で行われ、尚且つ会津からの“エール”という形で開催されるこの芸術祭は、私たちの「会津を応援したい」という想いと通じるものがあると感じた。そして、このイベントにさまざまな形でアクセスし、この芸術祭を通して会津のリアルな声を発信できるのではないかと考えた。

Web 上で情報発信することで、全国の人に現在の会津の状況を知って欲しい。そして会津に対して関心を持ってもらいたいと思ったのが本研究の背景である。

2. 目的

- 芸術祭参加者（アーティスト・来場者・運営スタッフ）に取材して得られる、会津のリアルな声を Web 上で発信する
- 芸術祭の各展示場所・ワークショップ等取材し、それをコンテンツにまとめることで会津地域の文化活動を発信する
- 芸術祭を紹介することで Web ユーザに会津への関心を持ってもらう

3. 研究方法

芸術祭参加者の声を聞き、それをコンテンツとしてまとめていく。ここで言う「声」とは、芸術祭に参加して思ったことや感じたこと、また会津から発信したいこと、会津への思いなどを指している。実際に自分たちが漆の芸術祭に参加し、インタビューや取材をすることで参加者の声を聞き、コンテンツを作成していく。

4. 取材

- 会津若松市(28ヶ所)・喜多方市(14ヶ所)・三島町(1ヶ所)の会場に赴き、作品の写真等を撮影した。
- ワークショップ(6件)・その他トークイベントやシンポジウムなどに参加し、その様子を写真や動画に収めた。
- 会場やワークショップでアーティスト・スタッフの方にインタビューを行い、写真・動画の撮影、音声の録音をした。

- メッセージカードを取材先で配布し、参加者の方に「会津から」又は「会津へ」伝えたいメッセージを書いてもらった。また、市内4ヶ所の展示会場(二丸屋・b-Prese・太郎焼・コミュニティステーション TECO)にメッセージカードと回収ボックスを設置した。



5. 制作の過程

① 研究テーマの決定

当初予定していたテーマを変更し、芸術祭に関連したテーマに決定。

② ブログの公開

芸術祭開始に合わせてブログを開設した。取材した内容やワークショップに参加した際の出来事を綴っていった。

③ Twitter の設置

ブログに Twitter を埋め込み、更新情報や取材状況などリアルタイムな情報発信を心掛けた。

④ 取材開始

オープニングセレモニーを皮切りに、ほぼ全ての会場・イベントへ取材に行った。

⑤ リンク

芸術祭の公式サイトに当ブログのリンクバナーを貼って頂いた。

⑥ メッセージ収集方法の変更

当初は twitter とメールフォームでメッセージを募集する予定だったが、直筆の方がそれぞれの個性が出ると思い、メッセージカードを配布することにした。また、若松市内4ヶ所の会場にカードと回収ボックスを設置させて頂き、作品を観に来た人を書いてもらえるようにした。

⑦ 動画の公開

YouTube を利用し、取材で撮影した動画を編集後、アップロードした。

⑧ メッセージの公開

集めたメッセージカードをスキャンして公開した。

⑨ インタビューの公開

インタビューの内容を書き起こし・編集後、公開した。

⑩ Flash コンテンツの作成

メッセージの flash コンテンツを公開した。

⑪ サイト全体としての公開

これまではブログ上で仮段階として公開していた各コンテンツを学内サーバにアップロードし、Web 上で公開した。

6. 最終成果物

最終成果物は以下の通りである。(URL: <http://iserv.jc.u-aizu.ac.jp/~aizu/grad2011/>)

【デザイン】


トップページは、「会津の声」を発信しているサイトであり、尚且つ芸術祭関連であることを表現するデザインにしたいと思った。そこで、芸術祭で出会った人々や各会場の写真、アーティストの想いが込められた作品の写真をもザイクアート風に配置した。各メニューボタンについては、漆の代表色である黒を基調とし、アクセントとして人が声を出しているようなマークをあしらった。

【更新情報】



Twitter を利用し、更新情報やイベント情報を発信するのに利用した。

【インタビュー】



インタビューでお聞きした内容（芸術祭に参加した理由・作品に込めた想い・会津に対してのメッセージなど）をまとめた。読む人がよりわかりやすくなるよう、動画や音声、写真を配置した。

【ブログ】




芸術祭に参加した際の出来事や、それに関連することをリアルタイムで紹介していった。

【トップページ】



【概要】



サイトの概要と芸術祭についての説明、プロフィールを掲載した。

【動画】



YouTube を利用し、メディアアート作品やダンスパフォーマンスなど、取材で撮影した動画をアップロードした。

【メッセージ】



各会場で集めたメッセージカードをスキャンして取り込み、一覧で見られるように配置した。最終的には、フォトギャラリー風の flash コンテンツを公開した。

7. 結果

【twitter】

ツイート数 160 件、フォロワー数は 71 名となった。リアルタイムな情報発信ができた。(1 月 15 日時点)

【インタビュー】

アーティスト 14 件、スタッフ 2 件のインタビューを掲載した。動画付きが 7 件、音声付きが 5 件、文章のみが 4 件となった。

【メッセージ】

計 112 枚のメッセージを掲載した。会津地域出身が 60 枚、その他県内出身が 14 枚、県外出身が 26 枚、出身地未記入が 10 枚だった。香港と韓国出身の方のメッセージも各 1 枚ずつあった。子供から大人まで幅広い年齢層の「声」を紹介することができた。

【ブログ】

計 90 件の記事を掲載した。総アクセス数は 3480 回。(1 月 15 日時点) ブログ村ランキングでは伝統工芸分野 47 つのブログ中で最高 1 位を記録した。

【YouTube】

計 13 本の動画をアップ。再生回数は 803 回。チャンネル登録者数は 1 名となった。(1 月 15 日時点)

8. 考察・まとめ

【取材について】

芸術祭を取材してみて、アーティストの方や会場に来ていた方は皆快く声を聞かせて下さり、「自分にできることをしたい」という意識が感じられた。今回多くの人々と直接対話することで、一人一人が心に抱いている想いを知ることができた。

また、研究テーマである「会津の声」を象徴するメッセージの部分については、アナログな方法ではあるが直接カードを配って書いてもらったことで、それぞれの個性が見えるメッセージを集められた。しかしその点に気づくのが遅く、カードを制作・配布するのが 10 月末になってしまったのは反省点の一つである。より早い段階で広範囲にカードを配布・設置していれば、更に多くの声を発信することが出来たのではないかと思う。

【制作について】

ブログと twitter については、リアルタイムで芸術祭の様子を更新できたので、ライブ感のある情報発信ができたと思う。しかし、インタビューやメッセージといったメインコンテンツの公開が大幅に遅れたため、「会津の声」の要素がサイトに反映されるのが芸術祭終了後になってしまったのは反省すべき点である。

しかしながら、取材の内容が充実していたので各コンテンツは密度の濃いものになったと思う。コンテンツ数はトップページを含め 5 つと少ないが、1 つ 1 つの容量が多く、読み応えのあるものを制作することができた。メッセージからは会津のリアルな声を、インタビューからはアーティストが抱くそれぞれの想いを、そしてブログからは芸術祭を通して私たちが感じたことを Web 上で発信できたのではないかと考える。